

Q 7 市のシンボルの制定に限らず、高島市の市政運営において気になることや、こうしたらよいと思っておられることがあれば、お聞かせください。

1	人口が多い安曇川、新旭、今津などにいろんなイベントなどが集中する傾向がみられます。高島、マキノ、朽木の周辺地域はお互い遠いという意識があり人の往来を妨げてるような。市民をできるだけ周辺の高島、マキノ、朽木へ行く機会を作れば。 高島はガリバーがあるので市民はよく行きますが。 市の会議なども会場持ち回りで市民に周辺地域を知ってもらう機会にしては。
2	・市庁舎の建設について 現在の市の事務は数箇所に分散されており、不便を感じるのは職員だけでなく、一般の市民も多いのではないのでしょうか。 市長さんのご公約でもありまた、財政の問題もあり建設は大変難しいことだと承知しております。しかし、今の時期であれば合併特例債を活用すれば市民の負担は大きく軽減されるのではないのでしょうか。(個人の浅はかな知恵ですが) 庁舎建設に当たってこのような特例債を活用したときと活用しないときの市民の負担について示していただければありがたいと思います。 ・市のホームページについて 市のホームページは市民閲覧が優先で作成されているものと理解しています。 できれば、全国に情報発信して見ていただけるような構成内容の作成をお願いします。 また、ページの更新についても季節にあった画面、動画等含め適期に刷新していただければと思います。
3	高島は福祉・子育てなどのサービスがとても充実しているので、本当に住みやすいまちだと思う。だから、住民の多くは高島市政に十分満足していると思う…ということを前提に。 市民課・子育て支援課・保険年金課など窓口業務を行っているところは、市民にとって分かりやすい業務なので浸透している感じはするが、基本的に窓口業務がメインではない課の業務は市民にとって分かりづらい部分が多いと思うので、広報などでもっと他の課で行っている業務などを紹介しても良いかと思う。 また、「観光」「スポーツ」「福祉」など様々な柱があると思うが、高島市を外から見たときに「何のまち」なのかをしばっていく必要があると思う。シンボルがそれになればよいが、市がお金をかけてやっていこうという事業の設定がまず先かと思う。
4	合併して、いろいろなことが市の中心に集約され、周辺(朽木、マキノ、高島)に住む者として不便を感じることが多い。(私自身は、車を運転できるので移動には困らないが) 行政職の方で、新旭・今津・安曇川出身の方の中に、特に周辺地域のことで配慮が及ばない方もいらっしゃる。 公共交通機関網が十分でない高島市で、移動手段を車に頼らざるを得ない現状で、交通弱者に対しての移送サービスを考える必要がある。移送ボランティアグループは市内にすでにいくつかあるので、安全面や保険等の課題を抱えている民の活動を公が後方支援できる方策を検討してほしい。 高島の未来を支える子ども達が夢と希望をもって成長できる市政運営・教育運営をお願いしたい。 少子化だからこそ、特区(?)20人の少人数学級で、一人ひとりの個性を引き出し、個の成長に応じた教育環境の整備を望みます。
5	生産労働人口の減少、少子高齢化問題がありますが、市としてどのように解決していくのか、どのようにして高齢化社会を支えて行くのか。 高齢者や障害者、その家族が求めるサービスは本当に受けられるのか。それだけの資源は確保されているのか。その実態は分かりませんが、市の策定する計画に沿ってサービス資源が拡充して行く事を願います。 これからは、高福祉のまちにして行けばどうでしょうか。

6	私は、常々思っていることの一つに・・。 水道料金の、基本料金が高い(基本水量が高い)ということがあります。 私が家の、月々の水道利用水量は2ヶ月でここ数年ずっと平均14立方メートルなのです。 それで、市の基本料金の基本水量が2ヶ月で20立方メートルなのですから。 私は、随分と実質的に高い単価の水道料金をずっと支払い続けているのですよ。 例えば、東京都による統計によると、その1ヶ月当たりの使用水量というのは・・。 独り世帯＝ 7. 7立方メートル 二人世帯＝16. 0立方メートル 三人世帯＝21. 2立方メートル 四人世帯＝25. 1立方メートル なんです。('13/3/16日/日本経済新聞より) それで、東京都では・・。 その基本料金の基本水量は、1ヶ月当たり5立方メートルなのですよ。 これを、高島市の基本料金の基本水量に当てはめてみますと・・。 その基本料金の基本水量は、2ヶ月当たり10立方メートルとなり・・。 私は、二人世帯以上の人たちと同じ土俵の上で、水道料金を支払うことができますよ。 私は、市の水道料金が決して高いと思っている者ではありません。 ただ、独り世帯も、それ以上の世帯もが、公平な条件で水道料金を負担する制度への改革が必要だと言っているのです。 世の中、省資源・省エネが叫ばれている中で・・。 私にとって、公共料金の内水道料金だけが、文字通り湯水のごとくに使い放題できるなんてのは、可笑しいとは思いませんか？。 それに、その水道料金は、下水道料金にもはねっかえってきますので、踏んだり蹴ったりですよ・・。 この件の改正に関しては、是非とも市長様の英断に期待したいと思います。
7	先月の台風で我が地区も避難勧告が出されたが、大雨による避難勧告の場合は「浸水」か「土砂崩れ」か勧告の理由まで教えて欲しい。比較的周りより高い場所に住んでいる身としては、わざわざ浸水の恐れのある低い土地の避難所まで行くリスクの方が心配だった。 地名に旧市町村が分かるようにまだ残っているが、Q6のように市一体化を図るのであれば、なくした方がいいと考える。名前からどのあたりの地名かがすぐには分からなくなるが、旧町村名が残っているがゆえに旧町村の集団意識が抜けないのだと思う。また、同じ町村名の付く地区でも実際は遠く離れていたり、逆に違う町村名の付く地区でも互いに隣接していたりと、旧町村名は地区の実際の位置を認識する上で逆に弊害となっている。 原子力災害などで市民が南部へ避難する際、国道161号線1本しか道がないのが不安。原子力災害が想定される大地震では、367号線も発電所の立地する若狭に近い分、かなり地震の被害を受けると考えられ、避難用経路として使えないと考えておいた方が良いと考える。特に161号線は大溝から北小松まで迂回路すらなく、白髭神社辺りで通行止めにもなれば避難路を絶たれることとなる。現在整備中の161号バイパスも当該区間は拡幅工事のみでありバイパスの迂回路機能は付与されない。したがって、高島地区から小松等旧志賀町までの別避難ルートの早期建設を希望する。具体的には県道296号線からガリバー青少年旅行村へのルートを整備、延伸し、北小松か近江舞子周辺に通じるようにする案を提案する。
8	1.市民の声を聞く 本件のような仕組みは市民の声を聞くための一つの手段として良いと思う。 2.バランスシート 今後、市財政状況が厳しくなると見込まれる中、市の財政状況を把握するためにバランスシートを作成する必要があるのではないか。 3.災害時の適時、適切な情報提供 今回の台風18号による豪雨で鴨川堤防が決壊して床上浸水する被害を受けた。市の防災無線では、当地に「大雨の特別警報」による避難勧告が出されたが、その時すでに鴨川が宮野下で決壊していて私の家の周辺は濁流が大量に流れており、外出不可の状態であった。鴨川が宮野下で決壊したという情報は防災無線では伝えられず、消防隊員から直接聞いた。判断が難しいと思うが、重要な情報は適時、適切に伝える仕組みを作してほしい。

	支所が年々寂しくなっています。 市役所の充実によって支所の役割が変わってきたのだと理解していますが、支所に行くたび、その町そのものが活気をなくしたように思えて、悲しくなります。広い建物だけに一層閑散とした印象と強く受けるのは私だけではないでしょう。 支所(旧町役場)は、ほとんどが町の中心に位置していると思われます。比較的、人が寄りやすいところにあったはずです。その利便性を生かして、支所の建物を有効活用することを考えてはいかがでしょうか？ 空いている部屋を常設の「地元カフェ」や「ギャラリー」などに転用し、運営は地元のまちづくり委員会などに任せる。(具体的に他の人が思い浮かびませんので…)
9	私はマキノ在住ですが、今の公民館の場所(土に学ぶ里研修センター)は交通の便が悪く、車を運転されない方にとっては非常に不便です。 それを考えるとマキノの場合は、支所に公民館機能を持たせてもよいのではないかと思います。(耐震工事が出来ていないのでしょうか？) いずれにせよ、支所が元気でないと地域が精神的に沈んでしまいます。支所の職員を増やすのではなく、支所の利用者を増やし地域の情報が集まる場所にする必要を感じます。 このたびの台風18号のような災害が今後も予想されますが、今のような支所では地域を把握できません。常日頃から市職員がその地域に精通するためにも、住民との接触の機会を増やす必要があります。いざと言うときの拠点となり得る支所であるために、元気であって欲しいです。
10	◎ 気になること (1)高島病院の医師で、本当に頼れる先生が少ないこと 私の母や近所の人が高島病院に行って、独自で対応できないため、すぐに日赤などの紹介状を書かれ遠方で治療を受けねばならないこと。(遠くへ行くだけでも高齢化のため体力を使い大変です。) (2)原発やそれに伴う市政対策が乏しいこと まず、最近9月初旬まで稼働していた大飯原発でも、目の前に本市が存在しているにもかかわらず、その放射能<万一の時>の危険にさらされているのに、関係当局に言わない。また、福島原発で300トンの汚染水が流れているのに、その対策となる講話などが高島でなされていない。(魚や肉や野菜に含まれるセシウムを少なくして食べる方策などの話もない状況である。) 対策:(1)は、市内に専門医の存在する病院を設置してほしい。または、高島病院に専門医を入れてほしい。(2)は、福島原発事故に対応する講話を設定してほしい。講師は、高額なお金を出さなくても、身近にお話しできる人が少なからずいるはずである。 (3)高島市全体が、教育にしても福祉にしても、他の市と変わらない。十把一絡げである。もっと高島市は、「他市にはないこんな教育」をしている。高島市は、「他市にもない福祉」をしている、というものがほしい。 対策:⑦教育では、市の財政で副読本を作って、もっと生徒たちを奮い立たせること。(例)藤樹物語、高島玄俊物語(朽木)①学校に一般の人ではない教育経験者を支援者として小中学校に設置すること。高島独自の取組。 (4)日米共同訓練について 先ほど日本政府により、演習の中でのオスプレイを飛ばすという通告を受けたが、前もって落下する危険性があることが分かっているので、「あいまいな返事」ではなく、「はっきりと断る」対応をしてほしい。でないと、饗庭野演習場が今後、日米合同のいろいろな訓練の場に使用される危険性がある。 対策:政府にはっきりと断る勇気をもっていただきたい。

11	・JRが風で不通になったときの代替手段を整えてください。子どもが県外の学校を希望していますが、JRの代替バスがしっかり運行していないと聞いています。JRに掛け合い、そのあたりをしっかりとってもらわないと、通勤・通学に非常に困ります。現に、この問題で大阪や京都に戻った近所の人がたくさんいます。人口減につながります。 ・公立の小中学校のトイレ整備をしてください。汚い、臭い、和式ということで、我慢してしまう子が多いです。これは学力低下や健康被害、いじめにも関わるとテレビで見たことがあります。 ・高島市は給食費の未納率が高いと聞いたことがあります。未納は、子供に無銭飲食させているのと同じですし、未納の人のせいで払っている家の子にまでしわ寄せがいくのはおかしいです。市独自で、児童手当から天引きできないのでしょうか。または未納の人は、次の児童手当から引くなど不公平感のない、正しい人が損することのないようにしてほしいです。 ・同じ市内でもスクールバスのある所、ない所があります。最近では怖い事例も発生しているので、市の路線バスに便乗する形でも、利用させてもらえないかと思います。中学生は、雪の積もった道でも自転車で危険です。路線バスがからっぽで走っているのをよく見かけるので、子供が通学に利用することで利用価値も上がり、また乗り慣れている子は普段でもバスを使っていくのではないかと思います。 また、中学校が、市内でもプールのある所、ない所がありますが、カリキュラム的にそれでいいのでしょうか。同じ義務教育なのに、水泳の授業の有無があるのはおかしいような気がします。 人口が減るのを抑えるのには、子育て世代が「おおっ!？」と思うことが少ない気がします。上手にアピールできる決め手があれば…と思います。
12	市民がもっとバリアフリーな状態で様々な事業に参加できる仕組み、広報を検討していく必要があると思います。 それは、行政だけではなく、まちづくり団体ならどこでもそう感じると思います。
13	〈気になること〉 市行政、商・観光・農水産・林、その他官公庁の連携が不十分なところが見受けられる。特に一般市民とののかかわりの深い商工・観光協会を活用した事業に取り組み、高島市をPRすることが重要である。 〈こうしたらよいと思うこと〉 1 常時、民意に耳を傾ける 2 即実行、結果の公表 3 行政マンの外向き(出前)指導、説明会、講習会etcの実施 4 各支所の業務処理能力の均等 5 民間活力の活用 地域の知識人、経験豊富な年配者に行事ごと、参画してもらい、行事の厚み、重み、深みを持たせることも必要だと思う。未活用のところがある。 6 スポーツ振興・普及の奨励 現時点では、ある種目は活発に実施されているが、全体としては今ひとつ、盛り上がり欠ける。熱いものがない。「スポーツ推進計画」を一見したが、具体性に乏しい内容である。2020東京オリンピック開催。湖西からオリンピック選手が多数出ることを願う。 全般: 合併後、市として前進したとは思えない。大きく変化したものもない。 追加: 市政モニターは、市民と行政の一体化(つながり)する制度として、非常に有意義なものと考えられる。 市会議員の意見、要望etcと異なった「市民の声」が届くのではないかと思います。 50人のモニターは、各々6ヶ町村に在住していることから、町村ごとの会合を実施して、各人の考えや疑問etcを発表することで、親近感が出る。意思の疎通ができ、また市の全体会合で活発な意見交換をすることができるのではないかと考える。
14	自然エネルギーでの発電所を作ったらいいんじゃないかと思います。今、TPPなどで農作物が売れない家庭があったとします。その土地を本人が不要であるならば、市が買い取り、場所(例 太陽光パネル設置場所など)にして発電し、働く人を雇って市から給料を出し、その給料は電力会社に電気を売って作れば、経済も回し、発展もするんじゃないかと思いました。

15	Q1の回答のとおり、高島市の誇るべき部分を残しつつ、現状維持を図るのであれば、子供が増えるか、外部からの人口流入が必要になります。現市民の出生やリタイヤ世代の移住は先細るのが見えていますから、結論としては、若い世代の(市外からの)移住、定住がもっとも望ましいと考えます。高島の場合、京阪地域であれば通勤圏内ですから、他の過疎地や周辺部の町等に比べれば(地場産業の規模が小さくとも)、人を吸引する力があると考えられます。つまり、「自然豊かな場所に住みたいけれど仕事があるか不安」という声に対してはある程度の強みがあります。 市のHP等を見ていると、高島市への移住＝高島で仕事をする のが前提になっている感じもしますので、私からの提案は京阪神の子育て世代をターゲット絞った「攻めの移住広報」を地道に展開していくことです。広報やマーケティングでは、AIDMA理論というのがありますが、まずは、attention(注意喚起)とinterest(関心)を都市部住民層(特に豊かな自然環境を望みつつ、仕事を簡単に変えられない子育て世代)を対象に十分に練ったコピーや写真でプロモーションすると良いのではないかと思います。(例 京阪地区のターミナル駅でのデジタルサイネージ活用等)
16	市長は”市民の声”を聞くのがモットーですが、個人の声はなかなか聞き取れないと思いますが、国定公園の中で、周りが別荘ですんでいる住人の声も聞いてほしいと思います。市役所や支所に「目安箱」を置いてください。自治会はありません。
17	① 情報について 市の広報の情報は、子育て初期の世代にとっても届きにくいと思います。安曇川の賃貸アパートで暮らした経験がありますが、自治会に入っていないアパートが多く、市の情報はまったく入ってきませんでした。 子供(特に赤ちゃん)がいると外出もあまりできないし、公共の場所に行く機会もありません。インターネットで情報を集めることにはなりますが、高島市のインターネット広報はあまり更新が多くないので、情報が古いことも多く、リアルタイムに何かの情報がほしいときにとても困りました。 今は他地域の支援センターの情報をどうやって得たらよいのかわかりません。 ② 図書館について 子育てをしているといける場所は子育て支援センターか地域の図書館ぐらいしかありません。高島市の図書館は、他市からの移住者も驚くほどサービスが充実しているし、使い勝手も良いです。もっと高島市の誇りにしても良い公共サービスだと思いますので、政策の中で図書館とその職員さんを大切にしていきたいと思います。
18	詞を市民から募りつくられた(2011)さとやまTAKASHIMA里山劇場でオーケストラと一緒に歌った歌を1回きりに終わらせないで、市民の歌として市の催しとかでお披露目してほしいです。そして市民みんなが再認識し、また、高島のシンボルと同時に里山の歌で、外に向かってピーアール出来るとかと思いますが。
19	1) 長が変わるたびに新しい政策を立案されるが、後に引き継がれることが少ない気がします。 2) 住民参加の懇談会に出席したことがあるが、立派な冊子ができるが、やりたいことが多くて実行が伴っていない気がする。 3) 他市でよく似た地域を参考にされるのもいいのでは(今までそのようにされていると思いますが) 4) 地域が広範囲なので行き届きにくいと思いますが、道路や街角がきれいになればいい。清掃なりは、まったくの無償ボランティアでなく、せめてわずかでも交通費を支給されると学生や遠距離からでも人が集まるのでは。予算も必要でしょうが、町がきれいになると観光客も増えるのでは。
20	サッカー場建設や風力発電建設等、私たち1市民はどこで情報を得たらいいのですか。計画ばかりが先行して、置いてけぼりで知ったときはすでに設計図が出来ていたり…。計画の段階で知るにはどうすればよいのですか。教えてください。

	1 市議会の運営について 現状: 何度か質疑(チェック)するだけ、その質問内容も勉強不足、資料不足で傍聴していても内容が面白くない。又質問(代表質問、個人質問)は、執行機関に対して将来に対する方針などを質問するだけ、回答に対する以後の追求もなく終わっている。誰が市議会議員になっても同じのように思います。 改革案: これでは市議会議員が選挙時の公約を果たすことはできない。市議会議員側からの提案議案を出し、市議会で審議決定する市政運営を是非実行願います。 それには、①従来の市議会開催以外に「市議会議員より提案審議議会」を開催する ②通常議会に必ず「市議会議員より提案議題」を1, 2設ける 等の方法で市議会を開くことで市議会議員の資質が問われ、意見、思いが市議会で審議されることで公約が実現し、市民の市議会への関心が向上すると思います。 2 何でもやる課(すぐやる課)の設置提案 21 市民のあらゆる苦情、要望に対応する課を設け素早く対応する。 市議会議員の人たちの中には選挙地元の要望を市役所に掛け合いその処理を自慢し、市議会議員の仕事と勘違いしている市議会議員が多い。(選挙時の候補者チラシ、市議会議員個人報告書などでどここのカーブミラー設置の要望があったからつけました、ガードレールをつけましたなど等を見、またあの市議会議員に言えばやってくれる、などを聞きます。) 市議会議員の皆さんには本来の仕事に集中していただきたい。このような市民の要望を引き受ける課を設置してほしい。 これは市議会に対する請願、陳情制度ではなく市民の身近なことの解決方法です。 3 「高島市議会に関する市民意向調査」について 平成23年11月より1か月かけ674名の回答をもとに平成24年1月に出された調査結果報告書に対して議会改革特別委員会は報告書作成から1年10カ月を経過した現在どのような議会改革に反映されたのでしょうか。具体的な改革例を知らせてください。
22	高島にはおいしい近江米、そばをはじめ果樹、野菜、湖魚や発酵食品など他所にない食料品、温泉、水泳、ヨット、ボート、フィッシングなど湖上スポーツ、ゴルフや登山、スキーなどの娯楽施設や場所、文化遺産、ザゼンソウ、メタセコイヤ並木の自然の観光資源にも恵まれているが、行政の発信が乏しく生かされていないと思う。また、公共交通網も不整備で不満が多い。例えば、今、今津の北仰浜、桂園地では彼岸花が花盛りで、写真愛好家が各地から来訪し賑わっていますが、地元高島の人々はこの美しい花を知らずに無関心の人が多いこと。またマキノ高原「さらさ」の温泉へ行ったことのない市民が多いと聞く等々は行政のPR不足によるものと思われる。防災行政無線や「広報たかしま」等々で広報すればもっと市民の関心が高まると思います。 加えて、Q6に関し、公共交通網に問題がありと書きましたが、この件について今まで多くの友人に尋ねましたが、ほとんどの人がJR湖西線の京都・高島間の本数不足が市繁栄の阻害要因に指摘されています。市内バスの運行ルートが多く、車を運転しない人や老人の買い物や病院通いを考慮しない運行ルート、市民や老人の目線に立っていないスケジュールなど行政として改善をお願いしたい。また、JRに対し強力な要請をお願いしたい。 また行政として企業誘致をもっと積極的に行ってはどうか。高島には企業数が少なく、若者の雇用先に乏しい。これでは人口の減少、高齢化対策が打てないのではないかと。工業団地の造成、税制優遇等の抜本的対策が必要ではないかと。個人的には自衛隊の拡大でも検討課題だと思いますが。 その他、JR各駅前の(再)開発も課題だと思います。 このまま行政が手を打たねば、ますます衰退の一途をたどります。例えば、安曇川駅前には住宅建設、今津駅、マキノ駅は観光窓口、高島駅は病院最寄駅、新旭駅は市役所口など各々特徴を生かした駅前対策にJRとともに英知を結集して活性化を図ってほしい。
23	夏草が生い茂って草刈りができていない荒れ地が目立ちます。草刈り条例に基づいて、地主に勧告を何度も行ってほしい。

24	とても地元意識が強いので、外からの人に対する“よそ者”意識が強く感じられます。そして市政に携わっている人々も地元で生まれ育ち、他県や海外へ出た経験のない人が多いので、ある意味では、井の中の蛙のようなところが感じられます。他県から高島へ移り住む人もたくさんいて、その方々は高島の良さをアピールし、もっといいまちになるように努力している方々がたくさんおられますが、地元の人には新しいものに取りかかろうとする意識がまだまだ抵抗があるのか、保守的であるように感じられます。 個人的には、萩の浜の一带の地をもう少し整備して、そこを皆が来たくくなるような四季の花畑にするとか、もう少し休息できる東屋を増やすとかしたら、他県からもそれを見に来られ、駅前も活性化されると思います。せっかくのびれっじを運営していても、週末人通りが少ないのはとても寂しい気がします。まさに若者が増えれば、それだけ活気がわき、それがまた人を呼ぶと思います。 または、もっと皆の意見交換できる場を作っていただくか、そのような機会が多ければ多いほど、意外な発想やアイデアを通して、高島の地がもっと多くの人々に愛されていくよい地になっていくかと思います。 あるいは、私たちが地域にできることで、こんなことをしてほしいという依頼があればできる限りのことをしていきたいと思っています。 これからも多くの人々が憩い、愛される高島の地になることを願ってやみません。ありがとうございました。
25	地域が広いので、もう少し細やかな気配りがほしいです。 (交通、巡回バス、タクシー)利用者の声が届いているでしょうか？ あまりにも利用しづらいです。 JRへの増便依頼、駅前、駐車場の中途半端な整理、市民病院の不便、子育てのしづらい環境、高齢者の住みづらい環境
26	各支所は、市役所業務の出先機関(取次)になっていないでしょうね。 地域の特色ある自然豊かな資源を住人とともに生かし、隣人がお互いに思いやり、いたわりあえるまちになるため、その中心的な役割を果たしているでしょうか。各自治会への情報発信、地域内の出来事の掌握等多岐にわたりますが、合併当初より各地区には地域審議会が立ちあげられています。しかし、せっかくの20人の委員さんの動きが見えてきません。この方たちの意見聴取など活用されているでしょうか。 「この街の誇り…」といえる街づくりに重きを置いた各支所の運営、これが集まった高島市になってほしいと願っています。
27	・ 市議会議員が何をされているのか。もっとオープンに内容を公開していただきたい。 ・ 市庁舎(土木、教育)が離れていることが気になります。(建物も古い) ・ ○○町とついていることが、合併したにもかかわらず、それぞれのまちのこだわりがあるのでしょうか。
28	・ 市政の考えや今後の計画等について若年層には伝わっていないと思う。 ・ 高齢化の対策も必要だが、経済対策、企業誘致、新規企業等にも力を入れないと、労働人口の減少に歯止めがかからない。 ・ 60代以降の退職世代が流入しても、他県で消費をしていては意味がないと思う。 ・ 山、湖が広大にあるのだから、それに特化したスポーツ産業を考えてもよいと思う。逆に今ある運動場等の施設はもっと子供が行きやすい立地にした方が良かったのでは。
29	・ 子育て支援で医療費(通院)を早期に無料化を実現してほしい。 ・ 保育園入所の見直しを。6か月から1年にし、保育士の人員確保に努力して、入園できる園児の人数を増やしてほしい。 ・ 冬場、降雪量が多いとき、除雪作業車で通過する回数を増やしてほしい。(北側の出入り口は雪が解けにくく、処分に困ります)毎年苦慮しています。 ・ 公園の遊具の破損部分の補修やさびなど早期に対応してほしい。 ・ 歩道や公園の雑草が目立つので対応してほしい。
30	毎年各旧町村で夏祭りを実行しているが、それを市民祭りに集約する方が良いと思う。
31	お金がないとよく聞くのですが、何でないのですか？

32	・ 市の職員の言動が気になる 「高島市職員行動宣言」に従って市民の目線に立った市政運営をしてほしい。 ・ わが国も7年後に東京オリンピックを開催することになり、これからますますおもてなし精神が求められる。高島市においても職員も意識を変え、おもてなし精神を持った行動をするべきである。
33	お年を召した方々については、今現状の市政問題に目が行くかもしれませんが、中・長期的に市政を考え、課題解決に向けた新しい市政運営を行ってほしいと考えています。 まずは何と言っても少子高齢化。子育て支援についてもいろいろな制度がありますが、全国各地からでも高島市に引っ越してきたいと人々に興味関心を持ってもらえるような、日本でも例を見ない制度を打ち出してほしいと考えます。 次に「スポーツのまちたかしま」づくり。 スポーツ＝元気・健康。市民が広くスポーツに関わりあうことで、元気と健康を手に入れ、またスポーツ・アウトドアを通じて県外・市外からの人の流れを作ってほしいと考えています。
34	・ 各町の商店街が発展していかない。市政がもっと力を入れて何らかの対応が必要。 ・ 市内観光を1泊でのツアーコースができる観光地をつくる ・ 工場や大学校を市に持ってくる ・ 全国に少ないスポーツ施設を造り、他府県より利用できる施設